2022 年度 福祉助成金（活動助成）成果報告書

<table>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="2">こうえきしゃだんほうじん　にんちしょうのひととかぞくのかい　おかやまけんしぶ</td></tr>
<tr><td>団体名</td><td colspan="2">公益社団法人　　認知症の人と家族の会 岡山県支部</td></tr>
<tr><td>代表者名</td><td colspan="2">安藤　光徳</td></tr>
<tr><td rowspan="4">連絡先</td><td>住所</td><td>岡山市北区南方２－１３－１　県総合福祉・ボランティア・ＮＰＯ会館</td></tr>
<tr><td>TEL</td><td>０８６－２３２－６６２７</td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td>okayama.n.k@kirameki-plz.com</td></tr>
<tr><td>URL</td><td>https://www.alzheimer-okayama.com/</td></tr>
<tr><td>設立年（西暦）</td><td colspan="2">1998 年</td></tr>
<tr><td>助成活動名</td><td colspan="2">岡山県認知症カフェネットワーク調査交流会及び MAP 冊子発行</td></tr>
<tr><td>助成額</td><td colspan="2">200,000　円</td></tr>
<tr><td rowspan="3">活動内容</td><td>目的</td><td>県内に 140 近くの認知症カフェが運営され、そのほとんどがボランタリーな活動であり、資金面や情報面で苦労しているカフェも多く、また昨今のコロナ禍の影響もあり既に閉所や活動自粛しているカフェも出てきている。可能な限りカフェ運営の継続性を高めることやカフェ運営者同士の横の繋がりを作る事、コロナ禍における認知症カフェのあり方を協議することを目的にカフェ運営者等を対象とした調査や交流会を企画。
また、カフェを必要としている認知症の当事者や家族に向けた情報発信ツールのとして 3 年前に発行した「岡山県認知症カフェ MAP」の第 2 版の作成発行を行う。コロナ禍に対応したカフェ運営の内容を追加するなど発展的な情報発信を取り組む。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>・認知症カフェネットワーク調査交流会（ミニセミナー）
実施方法：現地集合参加形式で実施　　開催場所：県民局単位地域の会場
想定参加人数：30 名程度（県内の複数会場で実施）
⇒コロナ禍の影響を配慮し、交流会ではなく郵送による調査を実施。
・認知症カフェ MAP 作成のための調査活動及び情報発信ツールの作成
現地調査はコロナ禍に配慮し中止し、郵送のみのアンケート調査を実施。コロナ禍の影響で現在は閉所や活動自粛しているカフェの情報が今後変更することを見込み、冊子作成ではなく随時更新対応がしやすいホームページ版カフェ MAP の情報発信ツールの作成を行った。
・年 2 回　認知症カフェネットワーク通信の発行を行った。</td></tr>
<tr><td>成果</td><td>・認知症カフェネットワーク調査交流会については、コロナ禍の影響を鑑み集合型の交流会については中止し、調査活動のみ実施した。県内の 133 ヵ所のカフェに郵送でアンケートを実施し、82 ヵ所のカフェから回答を得ることが出来、各カフェの取り組み情報などを整理する事が出来た。また、カフェつながる通信の発行も 2 回実施し、県内のカフェの取り組み情報を発信した。
・調査結果をもとに情報発信ツールの作成を冊子からホームページに変更し、ホームページの立ち上げまで行うことができた。冊子と違い、ホームページは情報の随時更新が出来るため、今後のカフェの新規開設への対応やコロナ禍を経て開催方法・内容を変更するカフェへの対応も容易に行えることに繋がった。今後もしっかり運営しながら活かしていきたい。</td></tr>
<tr><td>今後の課題と対応策</td><td colspan="2">・認知症カフェについて新しい情報を気軽に調べることの出来るホームページにするために、主に以下の二つの課題に対応していくことが必要と考える。。
①多くの方に見てもらえるようホームページの広報に取り組むことが必要。そのため、他の団体と連携協力し、効率的な広報活動に取り組んでいきたい。
②新しい情報を各カフェ運営者が随時更新できる仕組みを作り、更新作業を行える体制をつくることが必要。そのため、行政等と連携し、交流会などの開催を行えるよう取り組んでいきたい。</td></tr>
</table>

写真の提出

↓認知症カフェネットワーク HP

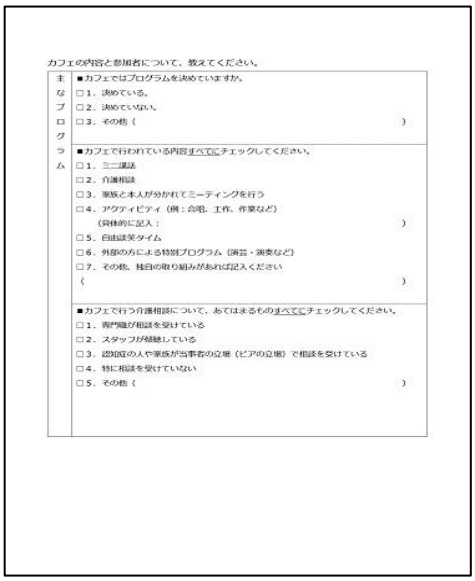
↓カフェつながる通信

↓県内の認知症カフェに調査アンケートを実施

整理番号	

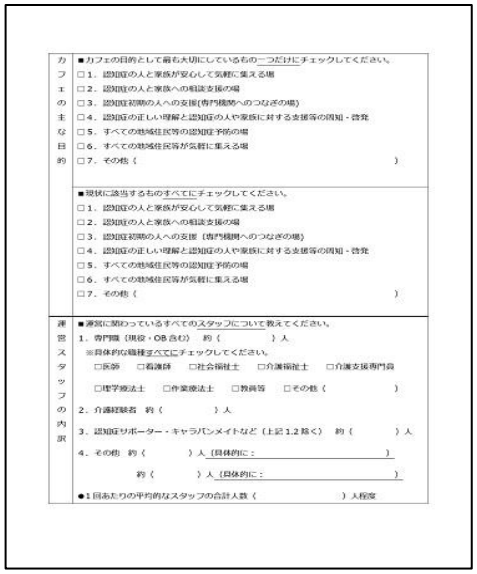
貴カフェに関する情報について教えてください。

	項目	内容	記入例
カフェの基本情報	名称		
	設置主体		市町村、地域包括支援センター、医療法人、社会福祉法人、ボランティアなど
	開催場所 住所		行政・社協等の公共施設の一室、公民館、病院・介護事業所の一室、地域の広場、寺院、個人の家等
		（〒　　）	
	開催日時		毎月第1・3金曜 10時～12時 不定期（年4回程度）
	参加費		無料、参加費100円、飲食代実費　等
	問合せ先 団体名、代表者名、連絡等送付先住所 電話番号、メールアドレス等		●●病院　医療連携室　岡山花子さんへ 住所　岡山市・・・ 電話番号　086-・・・ Email　○○○@・・・
	HP、ブログ、Instagram、Facebook等		現在作成しているホームページ等のURL、QRコードが有れば。＊当ホームページからリンクできるもの
	特徴 PRポイント		ご本人やご家族の参加が多く、お話しが中心 毎日、地域のボランティアさんにきてもらい、寄しを楽しんでもらっている 会場近くの元気な高齢者が認知症予防を目的に集まっている



カフェの内容と参加者について、教えてください。

主なプログラム	■カフェではプログラムを決めていますか。 □1．決めている。 □2．決めていない。 □3．その他（　　）
	■カフェで行われている内容すべてにチェックしてください。 □1．ミニ講座 □2．介護相談 □3．家族と本人が分かれてミーティングを行う □4．アクティビティ（例：合唱、工作、作業など） （具体的に記入：　　） □5．自由談笑タイム □6．外部の方による特別プログラム（演芸・演奏など） □7．その他、独自の取り組みがあれば記入ください （　　）
	■カフェで行う介護相談について、あてはまるものすべてにチェックしてください。 □1．専門職が相談を受けている □2．スタッフが継続している □3．認知症の人や家族が当事者の立場（ピアの立場）で相談を受けている □4．特に相談を受けていない □5．その他（　　）



カフェの主な目的	■カフェの目的として最も大切にしているもの一つだけにチェックしてください。 □1．認知症の人と家族が安心して気軽に集える場 □2．認知症の人と家族への相談支援の場 □3．認知症初期の人への支援（専門機関へのつなぎの場） □4．認知症の正しい理解と認知症の人や家族に対する支援等の周知・啓発 □5．すべての地域住民等の認知症予防の場 □6．すべての地域住民等が気軽に集える場 □7．その他（　　）
	■現状に該当するものすべてにチェックしてください。 □1．認知症の人と家族が安心して気軽に集える場 □2．認知症の人と家族への相談支援の場 □3．認知症初期の人への支援（専門機関へのつなぎの場） □4．認知症の正しい理解と認知症の人や家族に対する支援等の周知・啓発 □5．すべての地域住民等の認知症予防の場 □6．すべての地域住民等が気軽に集える場 □7．その他（　　）
運営スタッフの内訳	■運営に関わっているすべてのスタッフについて教えてください。 1．専門職（現役・OB含む）　約（　　）人 ※具体的な職種すべてにチェックしてください。 □医師　□看護師　□社会福祉士　□介護福祉士　□介護支援専門員 □理学療法士　□作業療法士　□教員等　□その他（　　） 2．介護経験者　約（　　）人 3．認知症サポーター・キャラバンメイトなど（上記1,2除く）　約（　　）人 4．その他　約（　　）人（具体的に：　　） 約（　　）人（具体的に：　　） ●1回あたりの平均的なスタッフの合計人数（　　）人程度

1回あたりの平均的な参加者数と内訳	■1回あたりの平均的な参加人数（スタッフを除く）について、最も現状に近いもの一つだけにチェックしてください。 □1．10名未満　□2．10～19名　□3．20～39名　□4．40名以上
	■1回あたりの平均的な参加人数(スタッフを除く)における、認知症の人と家族の参加割合について、最も現状に近いもの一つだけにチェックしてください。 □1．認知症の人・家族が参加者の5割以上 □2．認知症の人・家族が参加者の3割～5割未満 □3．認知症の人・家族が参加者の1割～3割未満 □4．認知症の人・家族が参加者の1割未満 ●認知症の人　約（　　）人 認知症の人の状況についてあてはまるもの一つだけにチェックしてください。 □1．ごく軽度の方が多い □2．軽度の方が多い □3．中等度の方が多い □4．重度の方が多い □5．様々な程度の方が参加している ●家　族　約（　　）人 ※1 本人・家族の参加についてあてはまるもの一つだけにチェックしてください。 □a　地元以外からの参加者がいる □b　地元の参加者がほとんど ●本人・家族以外の人（スタッフを除く）　約（　　）人 ●専門職（スタッフを除く）　約（　　）人 ●その他（　　）人程度（具体的に：　　） ●1回あたりの平均的な参加者（スタッフを除く）の合計人数（　　）人程度 ☆1回あたりの平均的なスタッフと参加者の合計人数（　　）人程度

本アンケートの回答をもとに「認知症カフェホームページ」へ貴カフェ内容の掲載の可否

□可　□否　※チェック記載がない場合は、本アンケートの回答をもって同意とみなす